

計算条件

支配方程式：線形長波理論（直交座標系，コリオリ力なし）

空間格子間隔：1,350m

時間ステップ：1.0s

再現時間：3 時間

波源モデル：USGS（Finite Fault Model）

http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/eqinthenews/2011/usc0001xgp/finite_fault.php

を Okada の方法により静的に与えた。

ただし、本来は破壊伝播速度，ライズタイムを考慮する必要がある。

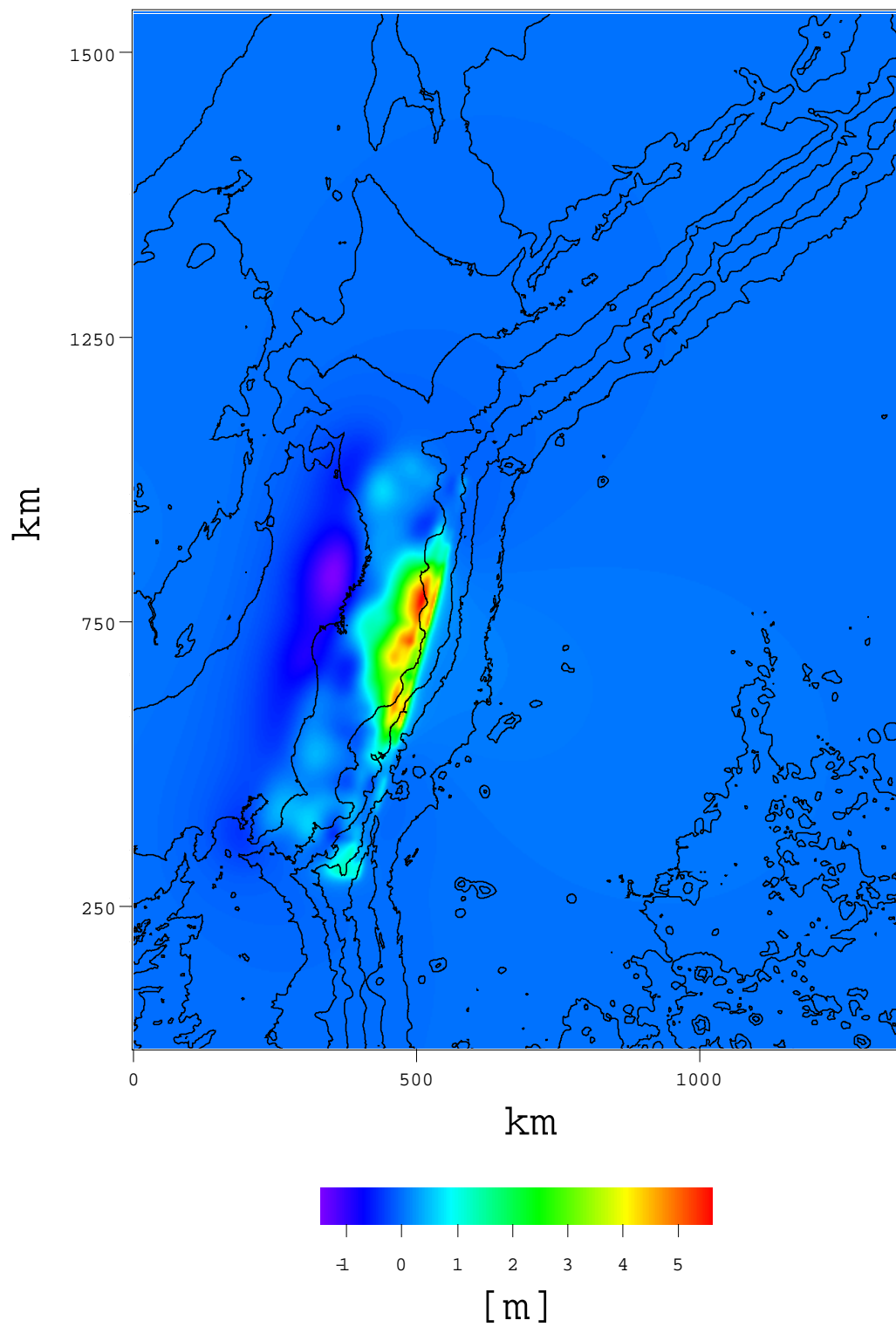


図. 初期水位分布と海底地形

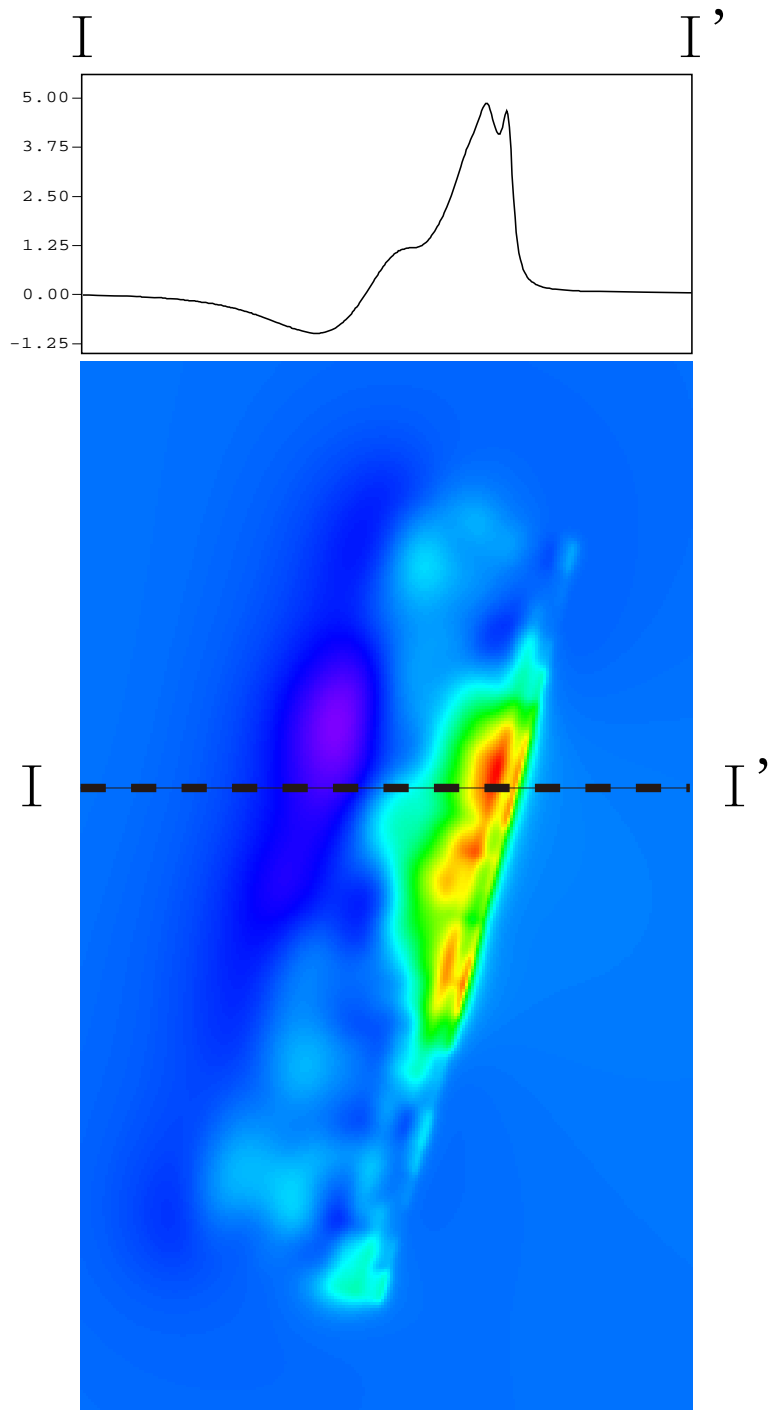
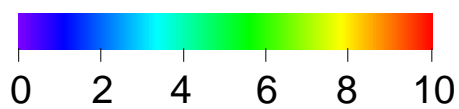
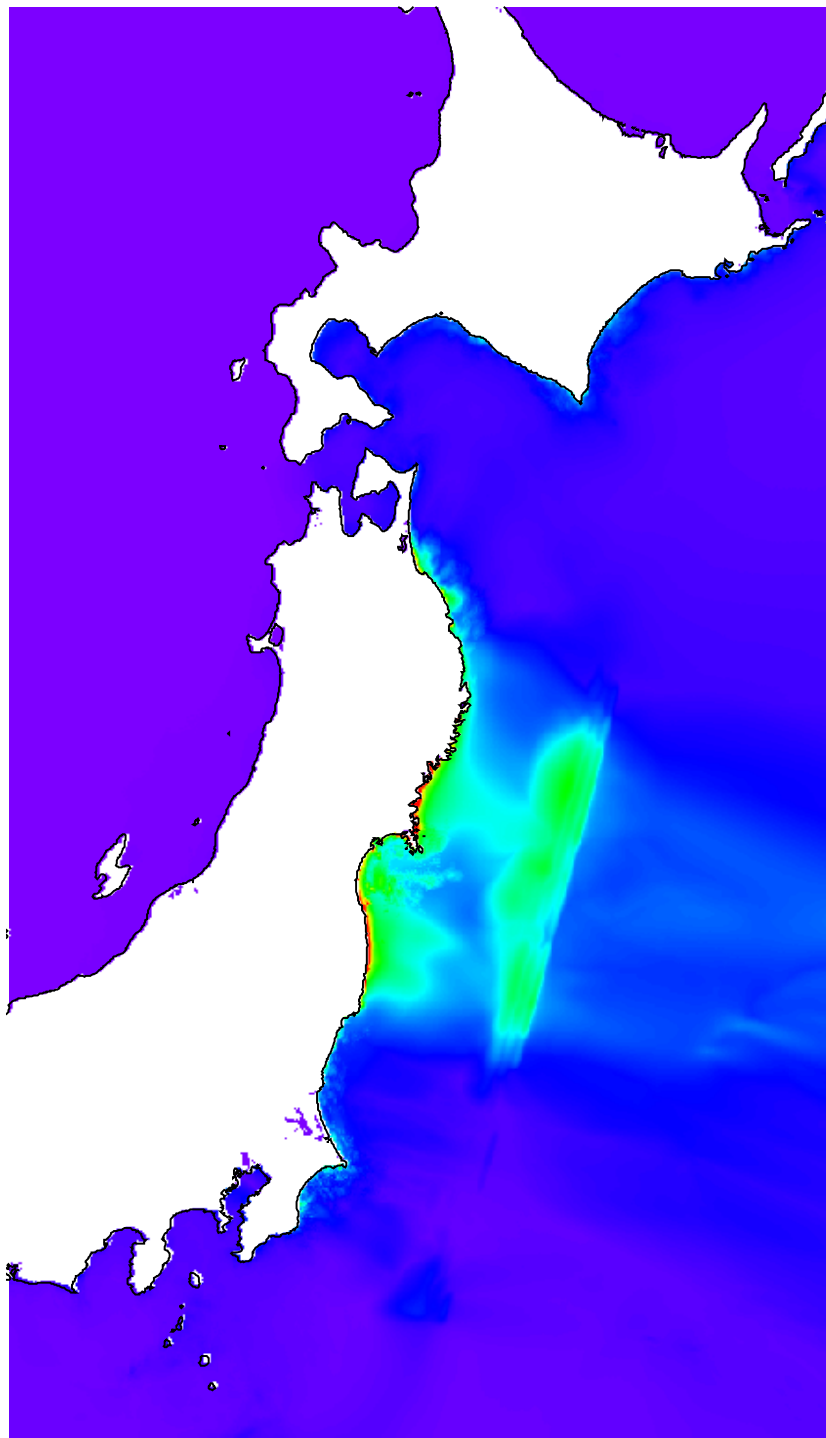


図. 初期水位分布の断面(I-I')



max water level [m]

図. 最高水位分布